問題1

70歳の男性。

【現病歴】切除不能S状結腸癌に対して、化学療法開始予定。

【現症】 意識は清明。身長162cm、体重60.5kg。体温36.3℃。脈拍70/分、整。

血圧135/90mmHg。眼瞼結膜と眼球結膜とに黄疸認めない。腹部は平坦、軟で、肝・脾を触知しない。骨盤内の痛みあり。下肢に浮腫を認めない。

【検査所見】

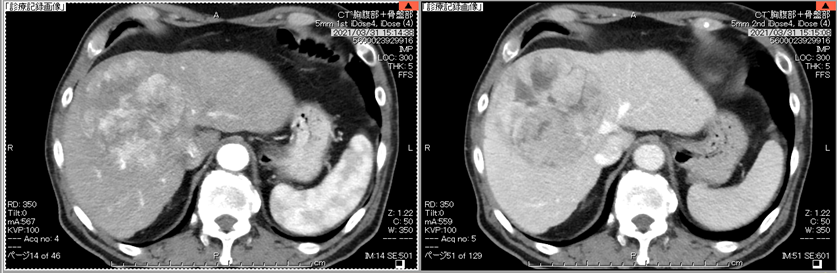
血液所見：RBC 384万/µL、WBC 8420/µL、PLT 26.1万/µL、Hb 10.4g/dL、Ht 43.7%、

PT-INR 1.06（基準 0.9~1.1）。

血液生化学所見：総蛋白 7.2g/dL、アルブミン 2.7g/dL、総ビリルビン 0.5mg/dL、

AST 25U/L、ALT 26U/L、ALP 158U/L（基準 38~113）、γ-GTP 158U/L（基準 9~32）、HBs抗原陽性、HCV抗体陰性。PIVKAII 91.2

造影CTを以下に示す。



問1　肝不全が進行した場合で、上昇するものを次の選択肢から1つ選べ

a:コリンエステラーゼ

b:Fischer比

c:総コレステロール

d:血小板

e:ICG15分値

問2　診断として当てはまるものはどれか

a:肝血管腫

b:胆管細胞癌

c:肝細胞癌

d:大腸癌の転移

e:肝嚢胞

問題２

75歳の男性。

【現病歴】自己免疫性膵炎のフォローアップの際に上部消化管内視鏡検査にて異常を指摘。

【既往歴】自己免疫性膵炎・糖尿病・胆嚢結石・帯状疱疹

【現症】意識は清明。身長163.3cm、体重53.6kg。体温36.6℃。脈拍72/分、整。

血圧134/78mmHg。眼球結膜・眼瞼結膜に異常を認めない。心音と呼吸音とに異常を認めない。腹部は平坦、軟。肝・脾を触知しない。下肢に浮腫を認めない。皮膚黄染なし。

【嗜好歴】　喫煙：70歳まで。　飲酒：最近まで

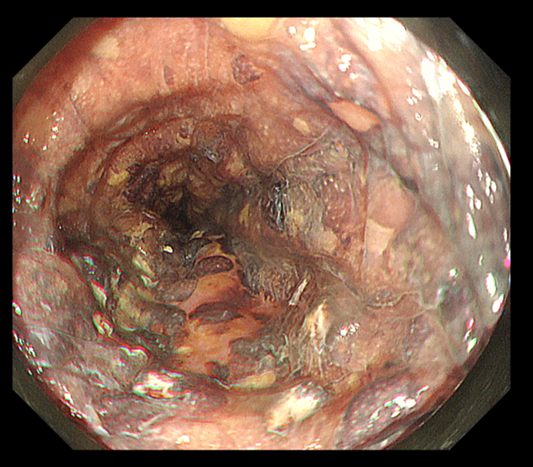
【検査所見】

血液所見：赤血球 440万、Hb 13.7g/dL、Ht 39.2%、白血球 8560、血小板 23.9万、PT-INR 0.92（基準 0.9~1.1）。血液生化学所見：空腹時血糖132mg/dL、総蛋白7.2g/dL、アルブミン 3.7g/dL、尿素窒素 15mg/dL、クレアチニン0.95mg/dL、総コレステロール 233mg/dL、総ビリルビン 0.5mg/dL、直接ビリルビン <0.1mg/dL、AST 14U/L、ALT 9U/L、LD 211 U/L、ALP 66U/L（基準 38~113）、γ-GTP 22U/L（基準 9~32）、CK 69U/L、アミラーゼ 77U/L、Na 136mEq/L、K 4.1mEq/L、Cl 97mEq/L、Ca 9.5mg/dL。

問1　自己免疫性膵炎について、誤っているものはどれか。2つ選べ。

1. CTで膵腫大が見られる
2. ERCPで主膵管の拡張が見られる
3. 激しい激痛が見られる
4. γ-グロブリンが上昇する
5. ステロイドが奏功する

問2　この患者の上部消化管内視鏡画像を示す。方針として適切なものを選べ。

1. ESD
2. PPI投与
3. 経過観察
4. EIS
5. EVL

**解答**

【問題1】

・問1：e

・問2：c

【問題2】

・問1：b,c

・問2：a